



市整会 会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.47 2012年1月5日発行

(医) 頼整形外科クリニック
〒591-8004 堺市北区蔵前町3丁2番8号サンロード1F
TEL072-250-3211 FAX072-250-3222

巻頭言

市整会副会長 阪本 邦雄 (昭和53年入局)

新年明けましておめでとうございます。
市整会に対しまして、諸先生方の常々の御尽力、御協力に、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の世界情勢、日本の状況に関する報道を新聞、テレビなどで見ていると非常に大変な状態になっている様子が、しみじみ感じます。

今まで世界を引っ張ってきたヨーロッパ諸国(EU諸国)内での、ギリシャの国家的経営破綻さらには、政府債務がギリシャの5.6倍もあるといわれているイタリアでの財政破綻の危機が、鮮明になってきたといわれています。東日本大震災に対して復興中の日本が、これらのEU諸国の国家的経営問題に足を引きずられ、歯止めのかからない円高、株価の低落に落ち込んでいます。さらに、日本の多くの大企業の生産現場があるタイにおける大洪水により、工業製品の生産が減産に陥り、日本の経済は、壊滅的な状態に陥っています。

このような暗い話題が多い日本の経済状況ですが、医療状況に関しても、明るい話題が、ありません。患者さんに対する受診時定額負担。医療機関を受診した時に、医療費とは別に一定の金額(当初は、100円だが、その後500円、1000円になる可能性がある)を支払う。この制度は、明らかに高齢者や、病気がちな人への医療虐待である。さらに、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加。TPPが導入されれば、外資系を含む営利企業、株式会社や民間の保険会社が医療に参

入し、混合診療の全面解禁へと移行する可能性があります。これらは、誰でも同じ医療を受けることができる日本の優れた国民皆保険制度の崩壊につながるものです。

まあ、このような頭にくるような事は、少し横に置いておきまして、11月3日に行われました市整会の家族会は、安田先生に御尽力いただき、鳴門うずしお観光の楽しい一日を過ごさせていただきました。また、11月5日に行われました学術・文化講演会では、西澤先生の元日本バドミントン代表の小椋さんとの実演バドミントンショーは、本当にすばらしかったです。西澤先生の意外な運動能力に、驚かされました。市整会は、このように楽しい会ですので、今後とも、市整会の各種行事に、多数の先生方の御参加をお待ちしております。

最後に、私事で恐縮ですが、開業して20年を過ぎました。この間、様々なことがありましたが、最近、患者さんから励まされることが、多々あります。高齢者の患者さんでも、髪を明るいブルーに染められ、笑顔で会話される90歳の患者さんを診ていると、こちらが励まされ、気持ちも明るく、こちらが治療されているように感じます。また、子供たちの明るい笑顔を見ていると、ほんとうに励まされます。これらの患者さんのことを頭において、日々の診療に励んでいきたいと思っております。

整形外科と代替医療

西上 茂樹 (昭和54年入局)

「整形外科医療の周辺問題資料集」が日本臨床整形外科医会から出版されてから10年以上になりますが、接骨院は益々増加し、問題点も多々出てきています。卒業生の増加とともに開業が増え、過当競争になり不正請求に結びついています。医科との関連では診療費(施術費)を比較すれば、医科が消炎鎮痛処置を、接骨院が3部位をとった場合、2回目医科104点(190点)、3回目以降104点(163点)と医科の点数が接骨院の2/3以下です。医科特に整形外科にとって不満があり、是正されるべき問題です。

では彼らの施術はどういうものか理解しているのでしょうか。先日、知人が接骨院を開業しているので、見学してきました。マイクロ、低周波、ウォーターベッド、温熱治療器や過流浴など整形外科と変わりはありません。ただ柔整師は鍼灸の資格も持っていることが多く、マッサージと共に鍼灸もしているようです。その際の請求は、鍼灸部分に関して自費を請求していることが多く、混合施術?になっているようです。マッサージと共に彼らの巧みな話術が施術手段です。彼らに対抗するわけではありませんが、開業前後より鍼や漢方などを取り入れてきたのでご紹介します。

鍼を習うきっかけは研修医時代のある先生の一言でした。以来、機会があれば漢方なども含め講習会に参加してきました。中には1日5万円の会もあり、いわゆる怪しい施術(気功)の講習会でしたが、結局のところ参加費の高い講習会はあまり役に立たず、信用できない事が多いとわかりました。鍼や漢方などにはいろいろな流派がありますが、やはり創始者(例えばAKAは博田先生)に技術が近づくのは容易ではなく、自己流を見つけることが大事だと思いました。今まで講習会などで習った治療法は「表1」にまとめてみました。今年もAAMAには2泊3日で参加しました。全てを紹介することはできませんので、実際に治療に役立つ「ツボ」の話をさせていただきます。先ず腰痛ですが、両手背の「腰腿点」に置鍼し、約

10分後に腰椎に沿ってキネシオテープを貼ります。膝の痛みはキネシオを貼り、2箇所(膝窩部と下腿内側部)を揉み解します。膝関節水腫は翌日になくなっていることが多々あります。効果は直後にわかります。おそらく8割以上に有効です。寝違いや子どものAARF(環軸椎回旋位固定)には手の「落枕」でほとんど改善します。今までAARFで病院に紹介した例は1件のみです。このような話をしてもおそらく信じられないことと思います。これらが科学的に検証できるかどうかの問題もあります。やった、治った、効いたの経験主義「3た療法」かもしれませんが、実際に経験して実感することでご理解いただけると思います。(ツボの位置は図1参照)

漢方については中医学や日本漢方などがあり、理解しがたいこともあります。症状に対し言い伝えによる「いわゆる口訣漢方」が使いやすいように思います。こむら返りに「芍薬甘草湯」は有名ですが、腰痛にも効果があり1包より2包、3包服用すると即効性があるという報告もあります。風邪や不定愁訴には漢方がよく効きます。今まで私が経験し、効果があった漢方薬を「表2」に示しました。

西洋医学であれ東洋医学であれ、治療は医師と患者の信頼関係の上で、お互いが協力して成り立つものです。鍼の効果を確認する実験で、治療者と患者の治療中の脳波を測定すると、効果がある場合は脳波が同調するとの報告もあります。西洋医学でもおそらく同様な結果になると思います。脳波が同調するような治療を心がけたいものです。最後に以前読んだ本に記載された文章を抜き書きしてご紹介いたします。

「医者と患者の人間関係も、病気という苦悩に対面して互いに助け合う生命の共感がないといけない。医者自身も明日をも知らぬ生命を持ったものであり、そのはかない生命を持ったもの同士の一期一会の人生に、医療を通じて関わりあっているのが医者と患者の人間関係なのである。絶対の

権威を持って勇者として患者に対して振舞うなどという態度は、医者にとって許されないばかりか、神からみればまさに愚かしいことであろう。この指が、またこの鍼が、薬が、相手の病気を治してやるのだといった押し付けがましい態度で医療が

行われるとき、一体人間一人の力がそのよう大それたことを為し得ると誰が保証しているのか。科学が何十パーセントの治癒率を誇るといっても、この病人を救えるという保証はどこにもないのである。」

表 1、私が経験した代替療法

- 1、鍼治療 刺絡（工藤訓正）
耳鍼 手指鍼 小児鍼 皮内鍼
長野式
ツボ注射（渡辺 裕）
YNSA（山元式新頭鍼療法 山元敏勝）
AAMA（アメリカ医師鍼灸学会 中澤 弘）
 - 2、操体法（橋本敬三）
 - 3、気診（小田 一）
 - 4、AKA（博田節夫）
 - 5、オーリングテスト（大村恵昭）
 - 6、矢追インパクト療法（矢追博美）
 - 7、キネシオテーピング
 - 8、スパイラルテープ
- （ ）内は創始者で医師



図 1 Th3「腰腿点」

表 2、私がよく使う漢方処方

1、葛根湯	風邪の初期(肩こりを伴う)、肩こり	41、補中益気湯	凍傷の既往)
7、八味地黄丸	BPH、老人の腰痛	55、麻杏甘石湯	虚弱体質、食欲不振
15、黄連解毒湯	鼻血、二日酔い予防(飲酒前)	63、五積散	咳の発作(鎮咳剤と併用)
16、半夏厚朴湯	神経性食道狭窄症	68、芍薬甘草湯	腰痛、冷房病
17、五苓散	浮腫、頭痛、二日酔い(飲酒後)、乗り物酔い	78、麻杏ヨク甘湯	腰痛、こむら返り
27、麻黄湯	インフルエンザ、風邪の初期(関節痛を伴う)	84、大黄甘草湯	関節痛、神経痛、ガングリオン
29、麦門冬湯	乾性咳	114、柴苓湯	便秘
33、大黄牡丹皮湯	虫垂炎(+鍼)	122、排膿散及湯	外傷性浮腫
38、当帰四逆加...	凍傷、腰痛(子どもの頃	127、麻黄附子細辛湯	化膿症(抗菌剤と併用)
		141、葛根加朮附湯	老人の風邪(PLより効果あり?)、花粉症
			肩こり

市整会家族旅行

— 眼が廻るのは渦潮のせい? —

西澤 徹 (昭和62年入局)

繁華街の朝はどこも同じ臭いだ。喧騒のあとの倦怠感。

新歌舞伎座の裏筋。祝日の朝。

年に一度我が家はそこをうきうきと歩を進める。ポニョ男が僕の手にはぶらさがるように歩く。

楽しみにしていた市整会家族会。今回は鳴門への日帰り旅行だ。

参加者は過去最高の45名。厚生係・安田先生の企画力・広報力の勝利である。

少し残念なのは、年々子供さんの参加が減っていること。黒田先生のお孫さんたちと我が子たちだけである。わざわざ中間テストを避けて旅程を組んでくださっている。

今回の傾向として感じたのが、S54以降入局の会員の参加者が増えたことである。子育てが一段落したのだろうか。ご夫婦での参加が多い。今後、彼らが市整会行事の核となられるであろうことを確信した。また平成入局の柴田敏弥・木下裕介先生が参加されたことは、きっと若手会員の参加を促すきっかけとなるだろう。

定刻を少し遅れて出発。阪神高速に入る前から、「シュパッ」という心地よい音。朝からビール。バス旅行はこれでもくっちゃ。神戸の街並みを眺めつつ、渋滞もなく明石海峡大橋を渡る。淡路SAでくわしたデロリアンで盛り上げられるのも同年代ならでは。

大鳴門橋をわたってまもなく、大塚国際美術館へ。徳島といえば大塚である。大塚御殿を利用された方も多いのでは？株主の方もおられるでしょう。何回となくこちらへ来ている私だが、この美術館を訪ねたことはなかった。入場料がべらぼうなのである。3150円！！この時代に。所詮フェイクですよ。それに3150円だす気にはなれない、というのが普通の感覚ではないか？

が、私あさはかでした…かも。想像をはるかに超える規模と水準。1日を過ごす価値あり。欧州旅行の予習にいいかも。モナリザのポーズがその後我が家のマイブームになった。

また案内してくださった学芸員の方が最高だった。話がうまい、奥深い。美術と宗教の話など、本人もくどく！嘆いておられたが、あまりに与えられた時間が少なすぎた。市整会文化講演にぜひ来ていただきたい。

さて眼も耳も疲れた。

お待ちかねのご馳走である。

「小山裕久」。

今回参加されなかった会員の方、奥様には決してこの名前をださないように。彼がオーナーシェフを勤める「古今青柳」での会食である。こんなビッグネームをさりげなく仕込むところが市整会の凄みといえよう。

先付けでもう打ちのめされましたね。「天平文箱」なる、箸箱のような器に盛られた眼に鮮やかなビー玉くらいの9種の小品。ほどよい温かさの燗酒がぐいぐい進む。隣のA、T先生の卓が場を支配する。阪本副会長、復活なった江口先生もほどなく輪に加わった。私もおいしいワインのお相伴にあずかる。あとはいわゆるもがな。日本に生きる幸福を感じる料理の数々であった。

ポニョ男はただ一人で黒田先生のご家族のテーブルに加えていただき、輝顯君と楽しい時間を過ごしている。

「小山裕久」を堪能したあと、鳴門の観潮船へ。想像していたよりはるかに大型船なのであった。渦は中程度だったらしいのだが、なかなか興味深く、迫力もあった。

あとは一路大阪へむかったのだが、私は幸せの夢の中に沈んでいた。素晴らしい料理や、音楽で眠りにつくことの幸福よ。

ただただすべてを感謝するのであった。

食わず嫌いの会員の皆さん。一度参加されたらどうでしょう？子供たちきっと喜びますよ。

市整会。やはりハンパナイ集団です。

新入会員紹介

自己紹介

明石整形外科クリニック 明石 健一（平成11年入局）

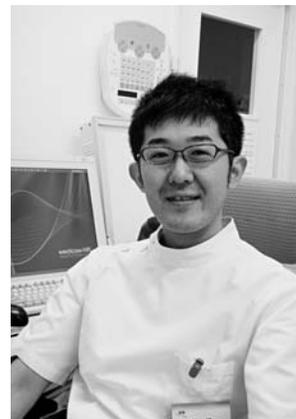
この度、市整会に入会させて頂きました明石健一です。

平成11年に近畿大学を卒業後、大阪労災病院で研修し、大阪市立総合医療センター、大阪市立大学医学部附属病院、東住吉森本病院で手外科を専門に勤務して参りました。父が病気のため1年間閉院しておりましたクリニックを平成22年11月よりリニューアルオープン致しました。

地域に密着したクリニックならではの患者さん本位の医療と経験・知識をいかした専門性の高い医療との両立を目指し、また、患者さんにとって分かりやすい説明を心がけ、信頼される「良きか

かりつけ医」となれるよう努力しております。

まだまだ未熟で、諸先輩方にはご迷惑をおかけするとは思いますが、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



自己紹介

(医) 妻鹿整形外科 妻鹿 良平（平成12年入局）

この度大阪市大整形外科開業医会に入会させて頂きました、妻鹿良平であります。平成22年4月から東大阪市で開業をしている父の医院のもと、開業医として勤務をさせて頂いております。平成12年に大阪市大整形外科医局に入局し、済生会中津病院にて2年間の研修の後、大野記念病院、

暁明館病院、つかざき病院、清恵会病院と続く勤務の中で、たくさんの先輩諸先生方のもとで数多くの勉強をさせて頂きました。そこでは数多くの忘れえない貴重な経験をして、現在の診療に役立っています。

開業医の大先輩である父の医院で常勤医として

(6)

働くようになり、間もなく2年がたつようになりました。今までの勤務医時代では、見えていなかった事が見えたり、勤務医時代では紹介を受ける側が、他院の各科、専門医の先生方をお願いすることが俄然、多くなりました。さらに整形開業医であるはずが、内科のテキストを傍らに置くことが当然のようになりました。先輩諸先生方からは“何をいまさら”とおしかりを、当然受ける事とは思いますが、これまで多くの患者さんや、多くのスタッフを率いてきた父が、このような事を通じて、またさらに大きく見えるようになりました。

先輩諸先生方のように特に専門分野を極めることもなく、現在に至って居るゆえに尚更のこと、開業整形外科医として今後も微力ながら自分の技量を見極めつつ、地域医療に貢献したいと思います。

さて、開業医会に入会させて頂いて間もなく、済生会中津病院時代にも御世話になった宮脇裕二先生より、市整会誌の編集委員という大変名誉な仕事を仰せつかりました。特に内容は問わないとの事であり、以前から興味があったアクアリウムについてお伝えしようと思えます。

昨年11月、小生の5歳になる息子の幼稚園バザーに出かけたとき、それは2匹100円のメダカから始まりました。見た目には特に普通のメダカでありましたが、良く調べてみると、ヒメダカという品種改良型のオス、メスペアーでありました。早速に近所のホームセンターでメダカに適している砂、照明、ろ過装置付き水槽(10L)を購入。めで8000円!でありました。その後インターネット等で、飼育環境とは、云々を知るにつけ、やれ水

草や、沼エビや、苔類を食む掃除屋の魚を購入するようになりました。約半年が過ぎメダカが産卵を始めるようになってから、稚魚の繁殖用(5L)の水槽をさらに購入しました。アクアリウム専門店にも通うようになって、そこにある水槽には、キラキラ光る美しい熱帯魚達、水草からユラユラ立ち上る泡。そう、光合成なんて行われているのではないですか!まるで富士山のすそ野にある湧水源のように、いくら見ても飽きず、癒される光景でした。眺めるうちに嫁にも相談せず、新たに(60L)水槽を購入。光合成に必要な二酸化炭素添加用のミニポンプ、太陽光に近いメタハラライト。夏場になってからは、外気温の上昇と共に水温がさらに上昇するので、冷却クーラーを購入し、それにつけ節操無く目に付いた水草を植え続けた結果、当初夢見た水源の景色とはまた違ったジャングルのような池状態となっているのではないですか。(これまでの購入額は怖くて書けませんが、おそらく10Lの数十倍程度)メダカ購入時、嫁とかわした約束に、“一切、手は貸さしませんよ!!”との約束事があり、それまで黙っていた我が家の監督が、突然見かねたのか、ジャングル化した水草の剪定作業に加わり、水草の大胆なリストラが行われました。やはり、けなげに伸びる水草には、それなりの愛着があり、自分では到底できない事でした。現在、理想とはまだまだ隔たりがありますが、少しずつ変えてゆきたいと考えています。

最後に、市整会の諸先輩方、入会の御挨拶が遅れましたことを、深くお詫びいたしますとともに、どうぞこれからも御指導、御鞭撻の程、宜しく御願ひ申し上げます。



剪定前



剪定後

自己紹介

たつえクリニック 整形外科・リハビリテーション科 竜江 哲培（平成13年入局）

はじめまして、平成23年4月に淀川区で開業しました竜江哲培（たつえ てつばい）と申します。開業が機ではありましたが市整会への入会を承認して頂き、誠にありがとうございます。

当クリニックはリハビリテーションに特化したクリニックとして開業致しました。開業時はPT 2名で運動器Ⅱの基準を取得し、運動療法を開始しております。

近年、基幹病院では在院日数の短縮や稼働率の向上のため入院加療が短縮される一方で、リハビリ難民も増えつつある現状です。

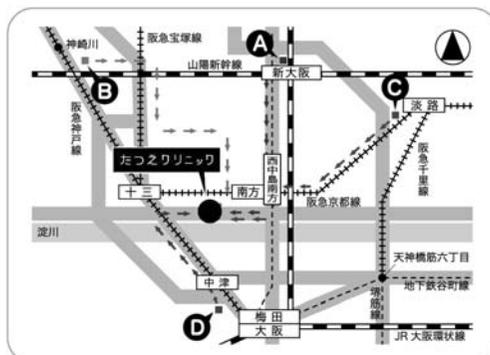
また来年度の同時改定では訪問看護とリハビリ

テーションの評価が見直されるのでは？との意見もあります。

まだ風向きは分かりませんが、たつえクリニックとしてはやるべきことは地域に根付くのはもとより近畿地区においてリハビリテーションを啓蒙することと考えています。

新年には新たにPTやOTのスタッフが加わり、脳血管リハⅡの基準を取得する予定であります。

ハンドセラピーや高次脳機能障害に対する評価やリハも充実させていきますので淀川区の関連病院の諸先生方をはじめ市整会の先輩方、今後ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



(8)

自己紹介

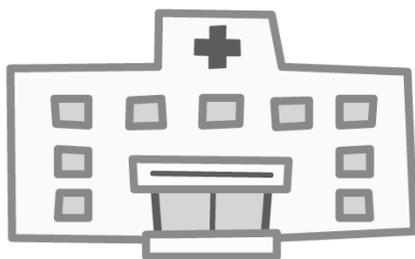
整形外科ひろクリニック 木村 浩朗（平成14年入局）

平成23年5月より大阪市平野区で開業しました木村浩朗です。

この度市整会に入会させていただきありがとうございました。

平成14年から大阪市立大学医学部附属病院で研修し、その後大阪市立北市民病院で脊椎、外傷を、市立吹田市民病院、和泉市立病院で人工関節、外傷を勉強させていただいた後、山本第3病院で勤務し、開業を行いました。

それらを基に今後は地域医療に貢献したいと思っております。まだまだ未熟で諸先輩方にはご迷惑をおかけするとは思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



くるま道楽2

阪本 博史（昭和59年入局）

この時期の、車事情。

この記事が皆さんのお目に留まるのは、年始になるかと思えます。

年末から年始の時期は、くるま（特に外車）の買い時です。というのも、くるまの年式に不思議な仕組みがあるからです。まず、国産車は毎月毎月くるまを生産しているので、新車なら納車の時期が型年式になります。平成24年1月納車登録なら、「平成24年型」となります。」しかし、外車の場合、年度という考え方が無いため、23年1月から12月までに輸入したくるまは全て23年型になります。そのうえ、年頭に輸入台数をあらかじめ設定してしまうので、この時期に外車ディーラーにある在庫車は全て23年型の残りです。ですので、もし、24年1月に納車登録されると、そのくるまは、23年の在庫車ですから、1年落ちの「23年型車」となるわけです。このような「年式落ちのくるまです」なんてことはまず、正直に説明するセールスはいないと思います。しかし、ここが上手にくるまを買うテクニクにつながります。

年末年始に残っているのは、輸入した車でも、いわゆる「売れ残り」です。「売れ残り」といっても、外車の場合受注生産・納車とはいきませんので、車種、グレード、色、装備とあらかじめ決まっている車を見込み発注・輸入しています。したがって、見込み外れで残ってしまう車もありこの時期、不良在庫となってしまっています。12月中に売れば、23年式で売れますが、来年になると1年年式落ちになってしまうので、なんとか、12月中に登録したいとかがえます。さらに、1月になりますと、1年年式落ちの在庫車を売るわけですから、値引きも格別のものとなります。さらに、もし、今年にモデルチェンジなどの情報があるものなら必死で、在庫を無くそうとします。

ただ、好みの色、装備が手に入らないこともあります。許せる範囲なら、一番の「お買い得」時期です。

仲の良い、セールスがいたら、この時期「先生、・・・が、残っているんですけど、誰か買ってい

ただけませんかしょうかねえ・・・」などと話が来ます。そのときは、とんでもないくらいの値引き額を提示してきます。いい話でしょ。

【ノスタルジックヒーロー】

今回は、逆立ちしても手に入らないくるまです。ジャガーEタイプ

1961年デビューのジャガーのスポーツクーペです。Eタイプと聞いただけで、あの流麗なシルエットを思い出される方も多いかと思えます。初期は、直6 3800cc。265馬力。最終型はV型12気筒、5300cc272馬力と巨大なエンジンを搭載するように変化していった車です。14年間に70000台ほど生産され、そのほとんどがアメリカ向けの輸出仕様でした。イギリス国内でのニーズより、アメリカでの競争力に視点を置いたため、最終モデルでは、足回りがパワーについてゆけず、ホイールベースも徐々に長くなり、シルエットのバランスがわるくなってしまったのは、残念でした。生産台数の半数はロードスター（屋根なし）で、外人が乗ると、おでこから上がフロントガラスからはみ出るようなドライビングポジションでした。このくるまの画期的なところは、1960年代にすでに、4輪ともディスクブレーキを装備していたところです。前回、日本で初めてディスクブレーキを装備したくるま、ということで、ベレGをご紹介しましたが、このジャガーに遅れること3年、しかも前輪だけしか装備できませんでした。シルエットはすばらしいのですが、アメリカ向けの為か、内装はジャガーを期待するには程遠い無機質な仕上げでした。1975年、オイルショックの影響もあり、燃費の極端に悪いV12は、姿を消しました。お気づきのかたもおられると思いますが、初期の3800ccで265馬力が、5300ccにして272馬力にしかならないのでは、やはりダメでしょうね。「新しいビンに入った古いワイン」と酷評され、アメリカのお金持ちはこぞってフェラーリに鞍替えしたのでした。

(10)

たしか、「ル・マン」という映画で、スティーブマックイーンが乗っていたくるまはEタイプではなかったでしょうか。

先日、くるまを買いました。「ジャガーXKRシルバーストーン」です。Eタイプの再来かと期待された10年前のくるまです。ル・マン優勝記念に世界限定150台生産されたくるまでV8,4000cc、375馬力、スーパーチャージャー付、まっすぐはめっぽう早く、ブレーキはブレノで、セミレーシングの仕様です。内装もほどよく、久しぶりにジャガーらしいくるまです。

【今回お薦めのくるま】

またまた、ベンツです。

今回は、お薦めというよりは、「こんな化け物のようなくるまも、ベンツにはあるんや」と思っ
てご紹介します。

C63 AMG

1000万円を超えるCシリーズです。

V8,6300cc,358馬力/6800回転・・・
普通のCシリーズのC 180では、直4ターボ、

1800cc、156馬力4200回転で、435万円です。いわば、1500ccのカローラにセルシオのエンジンを積んだようなくるまです。でも、こんなくるまの作り方を
するメーカーはそうざらにはありません。AMGなら
ではでしょう。(カローラベースのくるまに1.5倍
ほどのエンジンを積んで、塗装を2度塗りほど多
くして、値段を倍ほど付けているレク
なとかいうメーカーもありますが・・・)
このC 63、まだ乗ったこともありませんが、き
っと凄と思います。

レクサスにするかC63にするか、ただただ、価
値観の違いだと思いますが、いかかですか？

最後に、前回の記事に対しまして、大先輩の先
生よりご感想を賜りまして非常に嬉しく思っ
ております。今後とも何かご意見、ご感想がござ
いましたら、是非下記、メールアドレスまで、ご教
授ください。

dugkn413@sakai.zaq.ne.jp

今回のジオラマは、工場に入っているジャガー
Eタイプとそのころのくるまたちです。



ロンドンオリンピックに向けて

木下 裕介 (平成7年入局)

日本サッカー界の歴史を紐解いてみた時に、最高の成績を収めたのは1968年メキシコオリンピックの銅メダルであり、日本サッカー界の金字塔でもあった。

しかもグループリーグもスペイン、ブラジル、ナイジェリアと日本の4カ国で蒼々たる国と対戦している。準々決勝ではフランスに3対1で勝ち、準決勝では優勝したハンガリーに負けたものの3位決定戦では、開催国メキシコの2対0で勝っているのである。

当時のチームを引っ張っていたのは、FWの釜本邦茂氏である。この選手の個人記録はとにかく凄く他の追随を許していなかった。例えば日本代表として国際Aマッチに76試合に出場し75得点をあげている。ちなみに2位は三浦知良氏の89試合で55得点でありその差は20得点もある。得点力不足で悩んでいた昨今を考えると、釜本氏の記録を塗り替えられる事はないと思っていた。

しかし、この夏、釜本氏の記録を塗り替えた凄いサッカー選手が出現した。

なでしこジャパンの澤穂希選手である。2011年9月8日時点で国際Aマッチに176試合出場し80得点あげている。そして先のW杯で優勝し大会MVPに選ばれ、得点王に輝きメキシコ戦ではハットトリックを達成している。男女の差はあるとはいえ、この記録は単純に凄い記録で、日本サッカー界の誇る偉大なる選手であり、今後も語り継がれていく選手であると思われる。

今、A代表(日本代表)はブラジルW杯のアジア予選中で北朝鮮に負けたものの無事最終予選に勝ち上がった。U-22(オリンピック代表、H24年はU-23になります。)は最終予選中で現在グループリーグ勝ち点9点の首位である。次戦のシリア戦で勝てばオリンピック出場が濃厚となる。きっと勝ち上がりオリンピックに出場すると信じている。なでしこは、すでにロンドンオリンピックの出場を決めている。なでしこの目標は明確で、オリンピックで優勝することで、最低でもメダルである。

実は個人的に今回のU-22には、かなり期待している。素晴らしい選手が数多く存在する。まずゴールキーパーの権田(FC東京)、チームメイトからの信頼も厚くその安定感は素晴らしい。A代表の川島選手(リールズ ベルギー)と比べても引けを取らないぐらいである。おそらくこの世代のキーパーの中では、トップクラスだと思われる。そして何とんでも攻撃陣の人材が豊富である。

50m 5秒8で走る俊足FW(フォワード)永井選手(名古屋)をはじめ大迫選手(鹿島)、山崎選手(磐田)など今まで招集されていた選手が健在な上に11月の試合では、A代表に招集されU-22を辞退した清武選手(C大阪)、原口選手(浦和)がいる。そこに11月に初招集された海外組の天津選手(メンヘングラッドバッハ ドイツ)が加わった。そしてオリンピック本番(場合によっては2月5日のアウエーでのシリア戦)で招集されるとされる海外組がいる。香川選手(ボルシア・ドルトムント ドイツ)と宇佐美選手(バイエルン・ミュンヘン ドイツ)である。トップ下の香川選手は決まりで、おそらく清武選手と組んで巧みなパスサッカーを展開し相手守備陣を翻弄する姿が目に見えよう。そしてFWに原口、宇佐美、大迫、天津選手のうち2人、後半残り20分ぐらいで疲れてきた時に俊足FW永井選手の投入、何点でも取れそうである。

オリンピック本番では、3人のオーバーエイジ枠がある。僕の希望としては、まず一人目は本田選手(CSKAモスクワ ロシア)である。今のA代表は本田選手のチームと言っても過言ではない。U-22も今後はA代表に招集されてくる。今後のA代表のことを考えても是非本田選手を選んで欲しい。2人目は今野選手(FC東京)である。U-22の守備陣は、A代表の今野、吉田(VVVフェンロ オランダ)、内田(シャルケ04 ドイツ)、長友(インテル イタリア)、駒野(磐田)、槇野選手(FCケルン ドイツ)らに比べどうしても見劣りする。そこで中央の軸を固める目的で今野選手を選んで欲しい。3人目は、中央を固める意味

(12)

で遠藤選手（G大阪）か長谷部選手（ヴォルフスブルグ ドイツ）のどちらかである。後ろから権田、今野、遠藤または長谷部、本田、香川そしてトップと続く僕の夢のU-22の完成である。

あと一人どうしても気になる選手がいる。アーセナル（イングランド）所属の宮市選手、1992年生まれの19歳である。永井選手同様50m 5秒台の足を持ち、原口選手や宇佐美選手にも負けないドリブラーでもありその突破力からオランダの新聞

では「日本のメッシ」とニックネームを付けられたほどの選手である。今後間違いなく日本を代表する選手になると思われる。

男子サッカーでは、オリンピックの歴史上アジア諸国でメダルを獲得したのは、日本の銅メダル1個だけである。女子サッカーでは、中国の銀メダル1個だけである。ロンドンオリンピックでは是非この記録を塗り替え、男女アベック優勝ができれば最高である。



魅惑の女性ジャズボーカル

宮脇 裕二（昭和55年入局）

今回は魅惑の女性ジャズボーカルと題していくつかのレコードを紹介してゆきたいと思います。女性ボーカルをどのように楽しんでゆくかですが、まず歌のうまさ、すなわち歌唱力で歌を聴いてゆく、これは本来の道なのですが（いわゆる定番のアルバム）、ジャズマニアにはあまり歌のうまい人のアルバムは人気がないようです。それよりはむしろ甘く切なく、あるいは男性を誘惑するような歌い方の歌手の方が人気はあるようです。それからジャケット写真、そこに映し出されたお顔と雰囲気の内容はどうでもいからとにかくこのアルバムが欲しい、いわゆるジャケ買いをする人がジャズファンには多いようです。そこで今回は定番を避けて少しマイナーな歌手にスポットを当てたいと思います。

まず一番目はこの人の歌を一度聴くとメロメロになりそうなアルバム、そう Priscilla Paris の1969年の“PRISCILLA LOVES BILLIE”（写真1）。このアルバムを夜に耳元で聞けば甘く切なく Priscilla がとろけるような甘美な声でささやいてくれます。曲目もスタンダードばかりで聞きやすい物ばかりで、そのほかにもYouTubeで少し聞くことができ、動画も見れます。どうです私の一押しですが。

次におすすめは Lola Albright の“Lola wants you”（写真2）。この人の本業は女優でフランス映画1964年の『危険がいっぱい』や一番新しい物で76年の『刑事コロンボ ルーサン警部の犯罪』などに出演していて、その甘く優しく迫るハスキーボイスにすっかりまってしまうような彼女の歌には大人の女性だけが持つしっとりと落ち着いた雰囲気があります。しかし何よりも有名なのはこのジャケットでCDにて手に入りますが、できれば大きなLPで持ちたいレコードです。その他甘い語りかけ系の歌手として Ann Margret の“Bachelor's Paradise”あたり（写真3）もおすすめです。

さてこのような甘い系から少し離れて、もっと大人の、少し危ない系のボーカルを紹介いたします。ひとつめはイタリアから Renata Mauro の DIRE から出された“ballads”というアルバムで、さすがイタリアというジャケットデザインで、やはりLPの方がCDより数段手元に置きたいものです。LPの見開きジャケットの写真（水割りグラスと吸いかけのタバコを持つ Renata）のサイズとCDを比べてください。（写真4）。ブランデー片

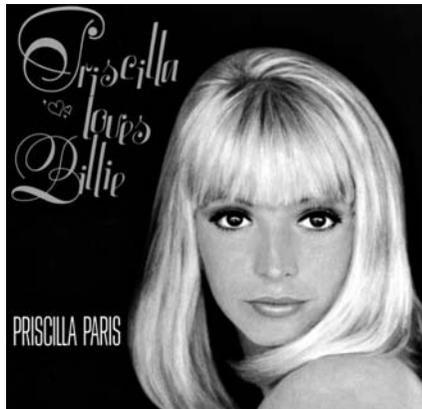


写真1



写真2



写真3

(14)

手にこのジャケット写真をながめ、彼女のハスキーボイスを聞いていると、なにか「坊やそんな所で突っ立っていないでこちらにおいで」とも言われているような気がします。

最後に中身を知らなくてもジャケットの魅力に引かれて買ってしまふ、ジャケ買いなってしまった1枚をご紹介します。Ann Richardsの”Ann, Man!”でジャケットが秀逸(写真5)なのですが、内容もかなりいいですよ。このジャケット写真は見返り美人と言われてジャズマニアにはかなり有名な物です。本家見返り美人と言えば菱川師宣作ですが、これは安藤広重の“月に雁”とともに小学生時代切手収集に明け暮れていた頃には垂涎の切手でしたが、今やその価値も下がり当時1枚1万円くらいした物がヤフーオークションでは2000円程度で買えます。ちなみに“月に雁”は切手では紫単色でしたが、本物はずっとカラフルな物であることをつい最近知りました。私には紫の“月に雁”のほうがどうしても本物に見えて仕方がありませんが。かなり話が脱線しましたが、いずれにしても女性ジャズボーカルは最高です。



写真4



写真5

編集後記

新年あけましておめでとうございます。会員の先生方におかれましては昨年の各種市整会行事にご協力いただきありがとうございます。さて、大阪秋の陣で大阪都構想を掲げる橋本徹氏が市長に当選し、これから大阪はどう変わるのか、あるいは変わらないのか？何年か後には“市整会”は“都整会”にかわっているのか？まだ誰もわかりません。

巻頭言の阪本副会長の言葉にもありますように、日本の経済や医療情勢は厳しいものではありません。

が、一致団結して事に当たればなんとか道は開けるのではと希望します。西上先生には日常診療に使える東洋医学の示唆に富む記事をいただきました。また例年の様に新規入会の先生4名の詳細な自己紹介を、特に妻鹿先生の熱帯魚記事は面白く拝読させていただきました。その他多くの先生方からご投稿いただき、この場を借りて御礼申し上げます。

(広報：宮脇裕二)